

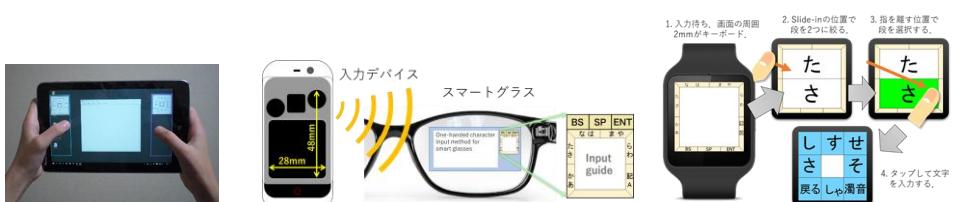
## モバイル文字入力手法の研究

シーズ技術名

技術分野分類 電気電子工学 5606 制御システム工学

技術キーワード スマートウォッチ, スマートグラス, タブレット, モバイル, 文字入力, ヒューマンインターフェース

産業分類 E 製造業 30 情報通信機器製造業

	概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>タブレット用文字入力手法</li> <li>スマートウォッチ用文字入力手法</li> <li>スマートグラス用の文字入力手法</li> </ol>
内容	従来技術・競合技術との比較(優位性)	<p>「タブレット用文字入力手法」 タブレットの両端を握った状態で、親指のジェスチャーにより文字を指定する。指を動かす方向を上下左右に限定しているため、誤入力は少ない。タブレットを両手で握った状態で文字入力できるので、タブレットの落下や腕・手首の疲労を防ぐことができる。指先の位置は使わないので、目で指先の位置を確認することなく入力でき、入力状態は入力ガイドを見れば把握できる。</p>
	本技術の有用性	<p>「スマートウォッチ用文字入力手法」 小さい画面で文字を効率よく入力するために、平仮名1文字を行と段の組み合わせで入力する。右図に示すように、行は画面の枠の部分から画面内に指を滑り入れる動作(スライドイン)で指定する。画面の各辺を2分割し、それぞれに2つずつ行を割り当てる。キーの幅が狭くても、スライドインならば画面を横切る位置を正しく検知できる。指を離す位置でどちらかの行を選択する。選択した行に属するひらがなが画面に一覧表示されるので、1つをタップで選択する。</p> <p>「スマートグラス用の文字入力手法」 スマートグラスを装着した状態で、片手にデバイスを握り、親指で文字を入力する。入力の状態はスマートグラスに表示される入力ガイドで確認できる。また、入力デバイスには穴の開いたカバーがかけられており、穴の部分だけで位置を検出するため、指先の触覚でタッチ位置を推測できる。このため、指先を見ることなく操作することができる。片手のみで文字入力できるので、荷物を持ったりつり革につかまつたりした状態でも文字を入力することできる。デバイスをポケットに入れて操作すれば、周囲に気取られることもない。</p>
	関連情報 (図・表・写真等)	
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	田中敏光 教授 名城大学 情報工学部 情報工学科
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター Tel. 052 (838) 2036 Fax. 052 (833) 7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp

## ■知的財産

## ■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2020年12月10日